

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

笑顔の架け橋

新発田市立 加治川中学校 三年 小 室 日 和 さん

私は、この税の作文の課題が出るまで、税に対するの関心がほとんどなく、知識もほんの少ししかなかった。しかし、この作文を書くにあたり税について色々と調べていくにつれ、私たちの日常のさまざまなものに税金が使われていて、世界中のたくさんの笑顔が税によって守られていることを知った。

まず、私たちが笑顔になる場所の一つであろう学校では、学校そのものである校舎、体育館、毎日使っている教科書等の教材、机や椅子、黒板、実験器具や部活動等で使う楽器など、ほとんどのものに税金が使われていると知った。税金がないと教科書、机、椅子などを、個人で負担することになる。するとなんと、一人当たり一年で百万円以上もかかるらしい。普段の学校生活を、友だちと楽しく笑顔で過ごすことができているのも、税金のおかげだ。学校生活以外でも、警察、消防の活動、地域のゴミ回収・処理にも税金が使われている。病気になったときに医療機関で十分な治療を受けられるのも、税金があるからだ。このように、私たちの地域での笑顔も、税金が守ってくれているのだ。

ところで、皆さんは現在日本が行っている「政府生活援助・ODA」という活動を知っているだろうか。この活動は、世界の苦しみ困っている人たちが多くいる国を助けるため、お金を貸すだけではなく、ダムや道路、病院をつくったり、病院で使う薬や注射器などを送ったりといった世界中の人の笑顔を守っている活動だそうだ。私たちが普段払っている税金は、世界中の誰かの役にも立っている。

今回、税について調べ、以前はあまり身近に感じることはできなかった税について触れ、税金が私たちの生活のたくさんのものに使われていること、私たちの笑顔、世界中のたくさんの人々の笑顔は税によって守られていることを深く知り、改めて納税の大切さを知ることができた。私は今までどんどん税率が上がっていくことなどで税に少しマイナスなイメージを持っていたが、自分が払っている税金も誰かの役に立って、誰かの笑顔のきっかけに繋がっていることを知ることができ、税に対するのイメージが変わった。まだまだ税に対してマイナスなイメージを持っている人は少なくないと思う。しかし、税金は自分、自分の大切な人たち、世界中の人々、そして未来の笑顔へとを繋ぐ、「笑顔の架け橋」なのだとは私は知ってほしい。